

涼しい夏から一転厳しい残暑を迎えました。
皆さんには新学期を控えての準備に忙しい毎日かと思えます。

◆ お待たせしましたパンフレット（日本語版）が完成しました。

全国専門学校日本語教育協会（全専日協）は6月30日に再スタートを切り、正会員45校、連携会員10校を中心に活動しています。会員の皆さんから「知り合いの学校にも参加を呼びかけたいので、パンフレットが欲しい」との声が寄せられていました。会員の連絡先を一覧にするための確認作業などを急ぎ、外語ビジネス専門学校のスタッフの皆さんのお力で、新しいパンフレットが出来上がりました。

会員校には7部づつお送りします。また未加入の専門学校にも送らせて頂きます。お読み頂き、会の目的である「情報の共有化」「教育力の向上」「学生への支援と指導」に賛同してくださる学校には新規加入のお誘いを致します。事務局から申し込み用紙をお送りしますので【加入します・加入しません】のどちらかに○をしてご返送いただければ幸いです。

そして10月末から11月初めには、英語を添えて本格的なパンフレットに仕上げます。この時までに新規加入を申し出られた学校はパンフレットにお名前を掲載することが出来ます。知り合いやお仲間にも是非お声をお掛け下さい。

◆ ホームページもリニューアルしました

ホームページ作成にあたっては会員の皆様には学校名や住所に関する確認や依頼でお手数をおかけしておりましたが、8月末にホームページが公開されました。

大沼会長からのご挨拶、これまでの活動、事業方針などが記載されております。会員一覧には会員の学校名が記載されており、そこから各校のホームページにジャンプするようになっております。ぜひ一度、ご覧になってみてください。

今後は順次、英語表記なども追加していく予定です。



本協会は「情報の共有化」「教育力の向上」「学生への支援と指導」の3つの柱を掲げ、実践的で質の高い日本語教育の実現を目指しています。

ホームページアドレス <http://www.na-cje.jp/>

◆ アイデアをいっぱい持った委員を募集中です

全専日協には、4つの委員会があります。「総務委員会」「情報共有委員会」「教育研究委員会」「学生対策委員会」でそれぞれの活動内容については、下記にお示しした通りです。

会員の皆さんにはどこかの委員会に参加して頂き、土台のしっかりした協会にしていきたいと思えます。添付したアンケートに第1希望・第2希望を書いて、ファックスまたはメールにてご返信下さい。

———— 全専日協 委員会の構成 ————

総務委員会	<ul style="list-style-type: none">・理事会、総会、役員会などの開催・新規会員校の募集、相談活動・「学校評価・質保証」に関する研究・事務局の統括、運営・財務管理・協会ホームページ・パンフレットの作成
情報共有委員会	<ul style="list-style-type: none">・行政と日本語教育に関する連携・日本語教育推進議員連盟との協議・産業界（観光、IT、介護など）との情報交換・ニュースレターでの情報発信
教育研究委員会	<ul style="list-style-type: none">・「日本語弁論大会」の開催・教員の資質向上のための研修会・日本語教育に関する講演、シンポジウム
学生対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・留学生の支援と指導 例：資格外活動、健康管理、犯罪防止、不法滞在防止・在留資格申請に関する問題の研究と対策・就職支援・各地方入国管理局への対応と要望を協議

◆ 8月の主な動き

● 8月7日(月)～9日(水)

日本語教育振興協会の「平成29年度日本語教育研究大会」に参加したところ全専日協のメンバーも活躍していました。

- 「非漢字圏向け中級学習ストラテジー—漢字圏向けとの違い—」等
平岡憲人先生（清風情報工科学院日本語科）
- 「改訂新実用日本語ひらがな・カタカナ練習帳」等
江副隆秀先生（新宿日本語学校）
- 「日本語教育を学ぶ大学生・院生と日本語学校教員の意見交換会Ⅱ」
佐久間みのり先生（横浜デザイン学院）
西村学先生（文化外国語専門学校）

*いずれも、全専日協でも発表してもらいた興味深い内容ばかりでした。

- 8月10日（木）

3月で解散した全国専門学校各種学校日本語教育協会の臨時総会で決算報告が行われ、無事清算が終了致しました。全専日協はこれを以て、会員が合意する共通の目標に向かって更に前進することになりました。

- 8月26日（土）・27日（日）

文化庁「日本語教育大会 東京大会」に参加しました。日本国内に在留する外国人の増加と共に日本語を学ぶ人の数も増えています。こうした時代に、各省庁は、日本語教育についてどのような施策を持っているのか、文化庁、内閣府、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省から説明がありました。また「これからの日本語教育における人材像」をテーマにしたパネルディスカッションや各地での事例報告も行われました。

以前、メールでお知らせしましたが、今年度は9月30日（土）と10月1日（日）に大阪大会が行われます。文化庁からの案内メールを以下に添付しますので西日本で関心のある会員の方は是非ご参加ください。

文化庁国語課です。

昨年度まで日本語教育研究協議会として開催していたものを、今年度より日本語教育大会・大阪大会として開催する運びとなりました。このたびはその御案内をしたくメールいたしました。今年度は9月30日（土）10月1日（日）に開催いたします。

ついては奮って御参加いただきたく存じます。また、所属団体内・関係者のみなさんへ御周知頂きますようお願いいたします。詳細は下記を御覧ください。

URL :

http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/taikai/29_osaka/index.html

*新学期、若い留学生から元気をもらって頑張りましょう！

2017年8月31日

全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当